

PBA チャレンジ Challenge!!

2023 冬 一般財団法人
太平洋放送協会(PBA)

2023 冬期特別献金のお願

来て、見てください。私がしたことを、すべて私に話した人がいます。
もしかすると、この方がキリストなのではないでしょうか。

(ヨハネの福音書 4 章 29 節)

いかがお過ごしでしょうか。今年は夏からいきなりクリスマスシーズンを迎えたような、何とも不思議な年でした。

放送伝道の働きのためにいつもお祈りいただき、ありがとうございます。また献金をもってご支援くださいますこと、心から御礼申し上げます。

コロナ禍が終わったような、続いているような、これもまた落ち着かない一年でした。それでも5類へ移行し、夏のキャンプや秋のさまざまな行事に、ほんとうに久しぶりで顔を合わせながらワイワイと楽しい時を過ごすことができました。何よりも神さまに感謝！です。

ここ数か月、十字架について改めて考えようと何冊か本を読みました。イエスさまが十字架上で叫ばれたことばがマタイの福音書27章に記録されています。「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」——ずっと、聞いてはいけな

おられるようには思えない」という心凍るような思いこそ、サマリアの女性が感じていた絶望感だったと思います。彼女の心の痛みを主はご存じでした。ご自分が体験されたからです。

私たちの放送伝道の働きは、ラジオやテレビを視聴してくださる方々を主のもとにお連れし、主に会っていただくことだと思います。福音書はイエスさまにお会いした人たちの体験談、証しで溢れています。バルティマイもザアカイもそうです。ニコデモもマグダラのマリアもそうです。イエスさまにお会いして人生が一変しました。イエスさまには人を造り変える力がおりだからです。

私たちもごいっしょに、放送伝道によってイエスさまにお会いする方がおこされるようにお祈りし、「来て、見てください」と語り続けたいと思います。

太平洋放送協会 理事長

矢木良雄



ラジオ放送伝道は、 宣数の原点



日本同盟基督教団
東広島めぐみ教会

牧師 加藤勇介



種蒔く人は、みことばを蒔くのです。(マルコの福音書 4章14節)

ご存じ、「種蒔きのたとえ」です。主イエスはこのたとえを「聞く耳のある者は聞きなさい」(マルコ4:9)と結び、私たちが耕された良い心で主のみことばに聞き、豊かな実を結ぶようと、私たちに招いておられます。

さて改めて、この種が「道端」「土の薄い岩地」「茨の中」「良い地」という、4つの地に蒔かれたことに驚かされます。それは「イスラエル流種蒔き」と説明されますが、それにしても何とも大雑把で、種の無駄遣い、ともいえる蒔き方ではないでしょうか。

昨今、頼に「生産性」が強調され、「コスパ」が測られ、若い世代では「タイパ」(タイムパフォーマンス：時間対効果)が重視されていると聞きます。こうした尺度からしても、およそあり得ない、時代遅れの蒔き方ということになるでしょう。しかしながら、私はそこに、広くみことばの種を蒔く主イエスの愛と情熱、そして宣数の原点を見る思いがするのです。

ラジオ放送伝道は、まさに「種蒔きのたとえ」のごとく、愚直にみことばの種を蒔き続ける、主イエスの宣教を継承する働きであることを覚えませす。少子高齢化の波が激しく押し寄せ、さらに震災やコロナを経験する中で、これまでの宣教のあり方を見直し、再考し、転換していくことが求められている時代にあって、私たちは知らず知らずのうちに宣教の原点を忘れ、効果効率を求め、スマートさを追求し、知恵を働かせすぎでは、いないでしょうか。神は「宣教のことばの愚かさ」を通して、信じる者を救われるお方です。(1コリント1:21)

今日も、ある面、採算度外視で、「道端」にも「土の薄い岩地」にも「茨の中」にも、みことばの種を蒔き続けるラジオ放送伝道の働きを通して、しかしたしかにその種は「良い地」にも落ち、聞く耳をもっておられる方のところにも届けられ、そこから豊かな実を結ぶ方が起こされていくことを信じます。その祝福は、30倍、60倍、100倍というのですから、結果的にすべてを回収して余りある祝福が備えられている、ということでしょう。

新年度もラジオ放送伝道の祝福を祈りつつ、それぞれに遣わされたところで、主イエスの後に従い、信仰と愛をもって、みことばの種を蒔き続ける私たちでありたいと願います。

スタジオ更新プロジェクトのためにお祈りください！

現在のスタジオは、40年ほど前に当時としては最高の技術で建設された、広くて素晴らしいものですが、経年による老朽化と広さゆえの維持管理コストの課題があります。そこで、スペースは狭くなっても、これからもさらに主の働きのために用いられるスタジオに更新することを祈り願っています。このことのためにも覚えてお祈りいただけましたら感謝です。



新スタジオイメージ

すべての必要が満たされるために 祈りお献げください

■スタッフの生活のために……300万円

2023年度の予算が満たされるために、スタッフの件費として300万円与えられることを願っています。スタッフと、スタッフの家族の生活のために祈りお献げいただけましたら幸いです。

■新たなスタッフを迎えるために……300万円

皆様によるお祈りとおささげものによって、20代の職員を新たに2名迎えることができました。放送伝道の働きを継続していくためには、若い職員の継続的な採用と成長が必要不可欠です。現在もわずか15名ほどで、ラジオ・テレビの番組制作から放送手配、事務局運営の働きに励んでいます。財政は厳しい状況が続いておりますが、2024年度に1名の採用を目指して、件費予算の確保、財政収支の回復が与えられることを願っています。放送伝道の今と、これからのために、お祈りいただけましたら幸いです。

■全国各地の支援活動費として……100万円

対面による集会在再開されるようになり、全国各地を訪問させていただく機会が増えています。放送伝道の働きを最前線で支え、大切な働きを担われている諸教会を励まし、諸教会の必要にお応えしていくことができるようにと願っております。そのための支援活動費として100万円が与えられることを願っています。



何とぞお願いいたします

PBA スタッフの証し

放送伝道は主のご計画



宣教協力運営部
のえる
ウィルソン乃恵留
(2023年入会)

私の母は、毎週「ライフ・ライン」を見ていたので、私も幼い頃から番組に親しみを感じていました。東京基督教大学に進学し、みことばを宣べ伝えることの大切さを学ぶなかで、どのように神様に仕えていくことができるだろうかと考えるようになりました。

そのような時に、あの「ライフ・ライン」を制作しているPBAの働きを知る機会が与えられました。ラジオやテレビを通して、70年以上にわたりみことばが届けられてきたことに感動し、私も太平洋放送協会の一員として仕えていきたいと決意しました。

番組には、悩みや葛藤のなかで、安らぎや励ましを得ているといったお声や、教会に行ったことはないけれど、いつも欠かさず見聴きしています、といったコメントが寄せられます。放送は、日々のほんのわずかな時間でしかありませんが、番組を通して多くの方々に慰めと希望が届けられていることを思うとき、まさに放送伝道は主のご計画なのだと思信しています。

今、こうして皆様と共に、放送伝道の働きを担わせていただいていることに心から感謝し、全国各地の教会と共に、日々祈りつつ謙虚に励んでいきたいと願っています。

お礼のことば



太平洋放送協会 常務理事
大井 満

いつもPBAのために、祈っていただき、支援していただいていますことを、心から感謝いたします。

PBAは放送伝道を進める伝道団体ですが、その働きは、人と人、神様と人、そして教会と教会をつなぐネットワークの中でなされていきます。教会の伝道の働きを、番組制作などを通して側面からお手伝いしています。このためにスタッフは感謝と喜びをもって働いています。

大学生の頃、所属教会の牧師から聞いたクリスマスのメッセージは衝撃でした。「宿屋には彼らのいる場所がなかったからである」(ルカ2:7)。ご存じのとおりイエス・キリストの誕生を伝える物語の中にある、短い言葉です。イエス・キリストは天の御

座を離れ、「いる場所のない」世界に来てくださり、その交換に私たちに天の住まいが用意されたというメッセージでした(ヨハネ14:2)。

今年のクリスマス、どれだけの方々にイエス・キリストの降誕のメッセージをお届けできるでしょうか。主に期待し、私たちもできる限りの努力をして、福音の宣教に励みたいと願っています。

PBAの必要を満たしてくださる神さまを信頼して歩いていきますから、これからもご支援をよろしくお願いいたします。

神さまの恵みと祝福が、皆様がたお一人おひとりとともにありますように。心からの感謝を込めて。



2023年度 会計報告

◆夏期特別献金(2023年4~10月)の感謝

多くの皆様による尊いご献金をありがとうございました。600万円の必要が満たされるようお願いをさせていただいたところ、425件 6,916,444円の献金が与えられました。祈りお献げくださったすべての皆様の上に、主の豊かな御恵みがありますようお祈りいたします。

◆2023年度上半期(4~9月)会計報告

全国各地で、対面による集会在再開されてきていることを感謝しつつ、そのことによる活動費の増大、資源高・物価高による運営コストの増加などがあり、2023年度上半期▲245万円の収支赤字となりました。

経済的な必要が満たされますよう、皆様による尊い祈りとご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

<2023年度 会計報告上半期>

単位：千円(税込)

収入	PBA維持献金等	15,248
	PBA特別献金	7,005
	各地放送伝道協力会献金	54,149
	災害(被災)地放送継続支援献金	637
	字幕指定献金	134
	放送事業収入	64,438
	収入合計	141,611
支出	人件費(メッセージャー、スタッフ)	38,645
	電波料	81,793
	制作編集費等	4,667
	建物維持管理費・水道光熱費等	6,143
	減価償却費	1,764
	事業運営費	6,415
	利用料(ソフトウェア、WEBサービス)・振込手数料	1,806
	その他費用	2,834
支出合計	144,067	
収支差額	-2,456	



WEBから簡単に献金ができますので、どうぞご利用ください。
(Paypal・クレジットカード)

www.pba-net.com/partner

